

令和8年度 第1回緩和ケアスキルアップ研修会 アンケート結果

【日時】 令和8年6月17日（水）19：00～ 【会場】 荘内病院 講堂

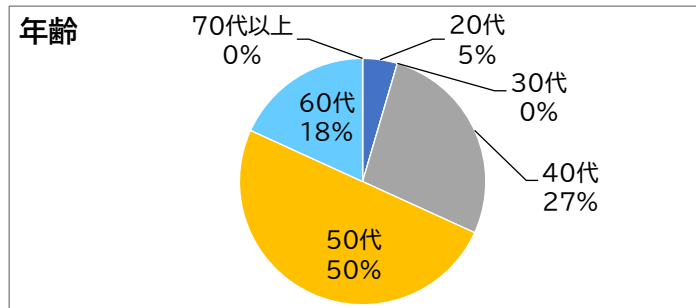
【参加者】 42名（会場：23名、Zoom 19名） アンケート 22名

【オープニングアクション】 「人が減っても、留まり、集う、希望ある社会の実現へ」
つるおか風の谷研究会 富樫シゲトモ氏

【講演】 「職員向け頭痛外来の取り組み」
荘内病院 医師 丸谷宏氏

Q1-1. 年齢

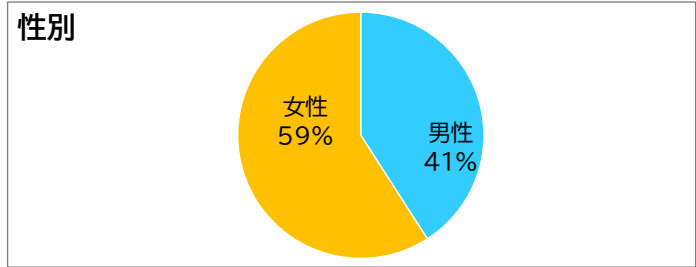
20代	1	5%
30代	0	0%
40代	6	27%
50代	11	50%
60代	4	18%
70代以上	0	0%
計	22	100%



Q1-2. 性別

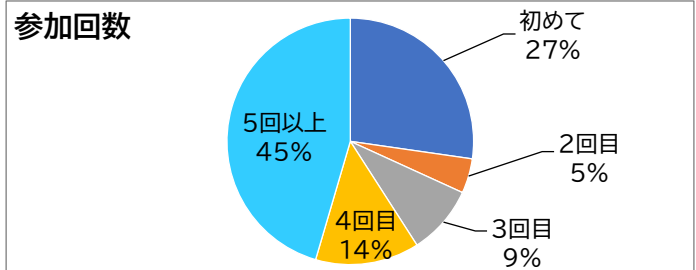
単位：人

男性	9	41%
女性	13	59%
計	22	100%



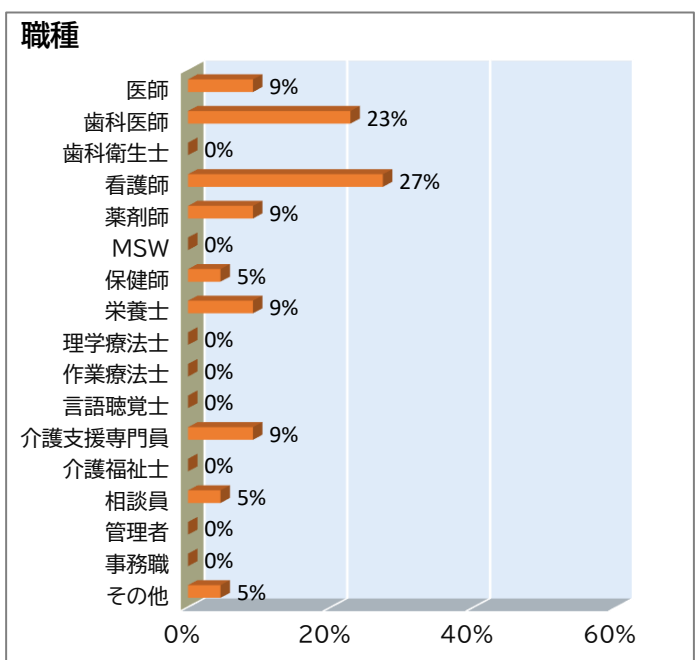
Q1-3. 参加回数

初めて	6	27%
2回目	1	5%
3回目	2	9%
4回目	3	14%
5回以上	10	45%
計	22	100%



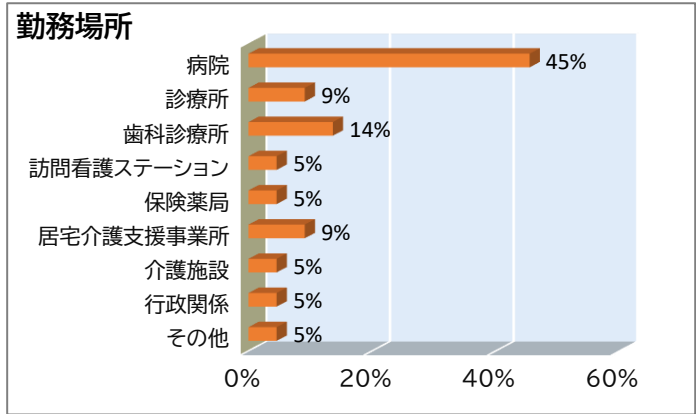
Q1-4. 職種

医師	2	9%
歯科医師	5	23%
歯科衛生士	0	0%
看護師	6	27%
薬剤師	2	9%
MSW	0	0%
保健師	1	5%
栄養士	2	9%
理学療法士	0	0%
作業療法士	0	0%
言語聴覚士	0	0%
介護支援専門員	2	9%
介護福祉士	0	0%
相談員	1	5%
管理者	0	0%
事務職	0	0%
その他	1	5%
計	22	100%



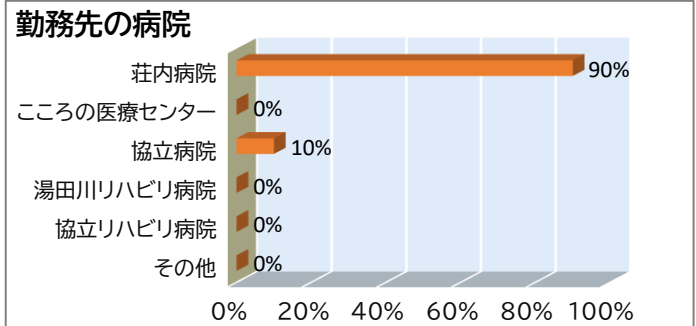
Q1-5. 勤務場所

病院	10	45%
診療所	2	9%
歯科診療所	3	14%
訪問看護ステーション	1	5%
保険薬局	1	5%
居宅介護支援事業所	2	9%
介護施設	1	5%
行政関係	1	5%
その他	1	5%
計	22	100%



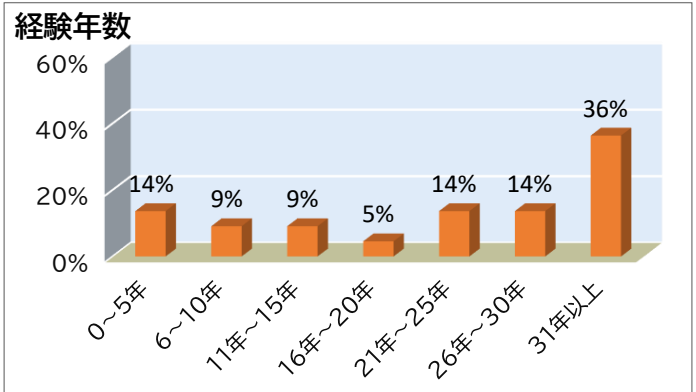
Q1-6. 病院勤務の方の病院

荘内病院	9	90%
こころの医療センター	0	0%
協立病院	1	10%
湯田川リハビリ病院	0	0%
協立リハビリ病院	0	0%
その他	0	0%
計	10	100%



Q1-7. 現在の職業の経験年数

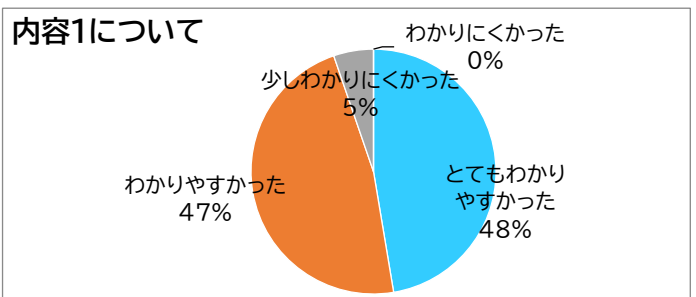
0~5年	3	14%
6~10年	2	9%
11年~15年	2	9%
16年~20年	1	5%
21年~25年	3	14%
26年~30年	3	14%
31年以上	8	36%
計	22	100%



Q2-1. 内容1について

「人が減っても、留まり、集う、希望ある社会の実現へ」

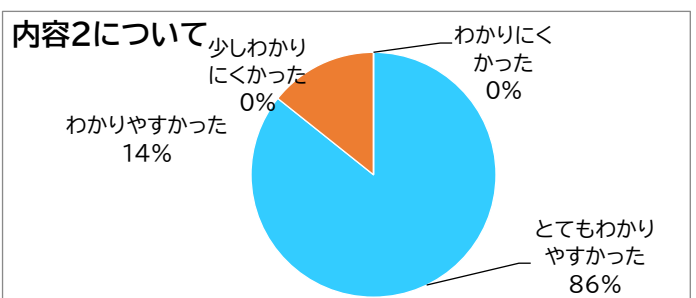
とてもわかりやすかった	9	47%
わかりやすかった	9	47%
少しわかりにくかった	1	5%
わかりにくかった	0	0%
計	19	100%



Q2-2. 内容2について

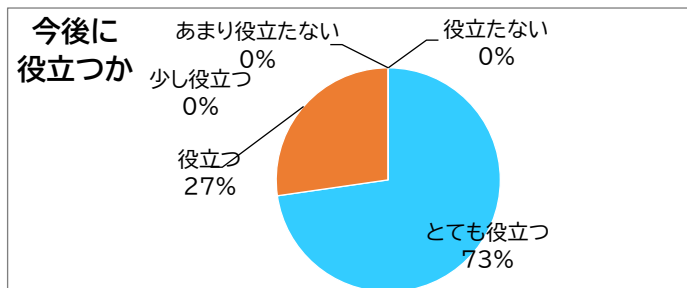
「職員向け頭痛外来の取り組み」

とてもわかりやすかった	18	95%
わかりやすかった	3	16%
少しわかりにくかった	0	0%
わかりにくかった	0	0%
計	21	111%



Q2-3. 今後に役立つか

とても役立つ	16	73%
役立つ	6	27%
少し役立つ	0	0%
あまり役立つ	0	0%
役立つ	0	0%
計	22	100%



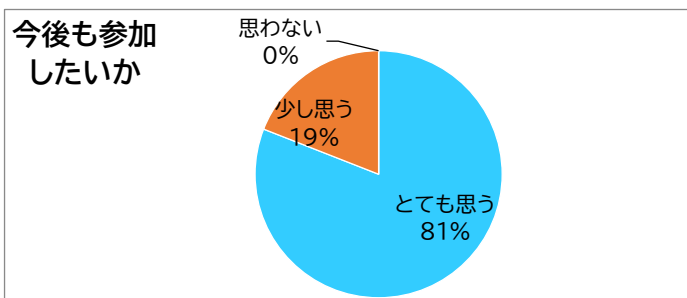
Q2-4. (Q2-3で①～③に回答した方) どのように役立つと考えるか (12件)

・頭痛外来の取り組みについては、荘内病院以外の方にも参考になると思いました。頭痛のメカニズムから説明いただき、とても分かりやすかったです。

- ・患者の説明や自分自身のコントロール
- ・医療を自信で勉強するのは大変なので、講演を聞けるのは有難い
- ・薬剤使用過多による頭痛と思われる方が、何人かいらっしゃるが、漫然と使用されるのが現場では多々あるため医療機関へつなげる意識をもって接していきたいと思えます。
- ・薬剤の使用過多を避ける
- ・頭痛の予防策を知りました。家族も頭痛もちなので、情報ももらってよかった。職員の家族もみてもらえるとよかった。...
- ・痛みの頻度が高くてたまにも薬を飲むのではなく、頭痛を診てくださる病院に相談してみようと思いました。
- ・風の谷研究会に少し興味があり参加してみました。高齢化社会が進む中では予防医学、健康増進が主体となるのが理想的と考えていました。研究会の今後の取り組みに注目したいと思います。
- ・コンパクトシティではない地方の生き残りの考え方
- ・抗CGRP製剤の効果
- ・自施設でも女性の職員が多いため頭痛等の体調不良を抱えながら勤務している職員が多数いると思われる。職員が働きやすい職場環境を見直していきたいと感じた。
- ・頭痛は突然始まるので、なるべく市販薬に頼らずセルフマネジメント力を高めようと思った。

Q2-5. 今後も参加したいと思うか

とても思う	17	81%
少し思う	4	19%
思わない	0	0%
計	21	100%



Q3. ご感想、ご要望、改善点など

(8件)

- ・うつ関連
- ・頭痛の新しい知見を知ることが出来て勉強になりました。
- ・地域の想いや同僚の優しさなど、両先生のお話に元気をいただきました。そのような地域、職場に居ることができて幸せだと思えました。お忙しい中、貴重なご講演、ありがとうございました。
- ・風の谷研究会の具体的な活動内容をもう少し知りたかった。頭痛を持つ同僚の症状を軽視せず、頭痛外来受診を勧める、休憩を促すなど、職場全体でフォローしていけるような現場環境を作っていきたい。
- ・自分も数年前から片頭痛で薬を飲んできました。今新しい薬や治療ができてきていることを知り、改めて調べてみたい、病院にかかってみようかなと思えました。ありがとうございます。
- ・病院職員向けの頭痛外来をぜひ市職員にも拡大していただきたいです。市職員も薬を飲みながら仕事をしている職員が多く、自分のデスクに鎮痛剤常備はデフォルトです。
- ・急速に進む人口減少の中で、医療をどう維持していくか、介護をどう維持していくか、今回の冨樫さんのような、従来とは違った、別の視点でのお話を聞いてみたいです。
- ・予定時間より早く終わったので良かったです。

